

亀岡大郎の トップ対談



経済評論家 亀岡大郎氏

■プロフィール
★大正15年京城生まれ。新大阪新聞経済部長を経て経済評論家となる。文芸春秋、サンデー毎日など一流誌で、経済・財界問題を中心に、精力的な活動を続ける一方で「自動車戦争」「ゲリラ商法」「IBMの人事管理」などベストセラー多数。

リノベーションFC「リノリースCLUB」に加盟

亀岡 以前勤めていた会社で広報関係の窓口をしていたことからビジネスチャンスの方とも何度かお会いしたことがあります。今の仕事を始めてからはビル経営の方の取材も受けました。実は亀岡先生とも過去に一度だけお会いしたことがあるのですよ。私がかつてフオーバルに在籍していた頃のことです。

亀岡 そうでしたか。フオーバルの大久保秀夫社長とは長い付き合いで、まだ電話を売っていた時代から当社にもよくいらしていました。

亀岡 私社長室長を務めていた

異業種から未経験の 不動産業界へ飛び込む

2013年の創業以来、賃貸住宅のリノベーションで業績を伸ばすユースター（神奈川県川崎市）。一棟単位の大規模案件も継続的に受注し、営業力にも強みを見せる。不動産業界未経験の状態からリノベーションフランチャイズ「リノリースCLUB」に加盟。同FCの全国大会では2年連続で表彰の舞台にも上がるなど、徐々に存在感を増している。岡田繁社長に話を聞いた。

大型案件を相次いで受注し売上は倍増

ユースター（神奈川県川崎市） 岡田繁社長（41）



プロフィール

昭和48年5月9日、静岡県出身。慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、TOYOTAに入社。その後、自民党代議士公設秘書を経て、ジャスダック上場企業社長室長を10年務めたのち、新築住宅販売会社の経営企画部長を就任。2013年、リノリースCLUBに参画するとともに同時に独立。趣味はお酒、バレーボール。

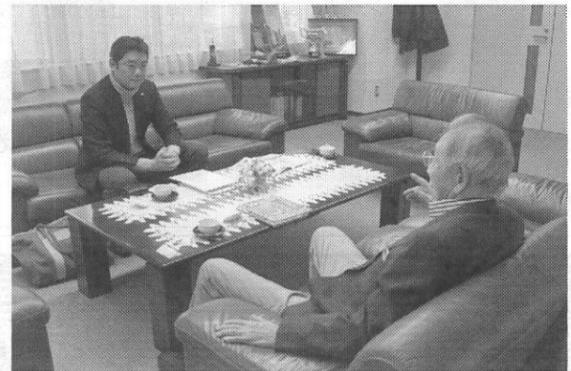
亀岡 これを見たのはずいぶん久しぶりですね。社長室に飾ってある賃貸住宅新聞を創刊した頃は、賃貸には風呂もなければトイレもありません。贈り物の存在自体、大久保社長に近しいポジションにいたか幹

大手企業が本腰入れて 業界トップを脅かす

亀岡 賃貸住宅も今は供給過剰の時代、これからは空室で困るオーナーがどんどん増えていきます。岡田社長にとっては大きなビジネスチャンスです。

岡田 我々の仕事は満室で経営のうまいって言うオーナーには見向きもされません。空室に悩まされ、何とかして状況を改善したいと思っています。空室が増え続け、一方で建物再生のニーズが高まって

亀岡 これを見たのはずいぶん久しぶりですね。社長室に飾ってある賃貸住宅新聞を創刊した頃は、賃貸には風呂もなければトイレもありません。贈り物の存在自体、大久保社長に近しいポジションにいたか幹



リノベーション事業の今後の展開について語る岡田社長（左）

会社概要

会社名：株式会社ユースター
設立：2013年11月18日
代表者：岡田繁
本社：（本社）神奈川県川崎市宮前区有馬1-22-19
1305
事業内容：リノベーション事業、賃貸経営支援事業、不動産経営支援事業、コンサルティング事業 他